令和７年度　倉橋学園グランドデザイン

国の動向

新たな教育振興基本計画のコンセプト

①持続可能な社会の創り手の育成
　…主体性，リーダーシップ，創造力，論理的思考力，表現力等
②日本社会に根差した「ウェルビーイング」の向上
　…自己肯定感，幸福感，多様性への理解等

新学習指導要領ｷｰﾜｰﾄﾞ

○社会に開かれた教育課程の実現
○知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」
○カリキュラム・マネジメントの確立

令和の日本型学校教育(中教審答申)

○新学習指導要領の確実な実施
○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
○学校教育の質の向上に向けた ICT の活用

生徒指導提要の改訂

○「積極的な生徒指導」の充実
○生徒指導と教育相談が一体となった「チーム支援」（児童生徒理解に基づいた支援）

ミッション

地域とともに未来を創る「ひと」を育てる

ビジョン

誰もが安心して学び成長できる学校

学園教育目標

かかわる　つながる　学び続けるひと
～　未来社会に役立つことを見据え　～

目指す子供像

主体的に学び合い，論理的に表現する児童生徒

広島県の１５歳の生徒に付けさせたい力

自己を認識し，自分の人生を選択し，表現することができる力

研究主題

主体的に学び合い，論理的に表現する児童生徒の育成
～　豊かな対話から深い学びへつなぐ授業づくりと
　　自己有用感を高める生活づくりを通して　～

県・呉市の動向

広島県 教育に関する大綱

【基本理念】広島に学んでよかったと思える　広島で学んでみたいと思われる　日本一の教育県の実現
【目指す姿】一人一人が，生涯にわたって主体的に学び続け，多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくり

広島県・「学びの変革」の深化

【目指す学校の姿】児童生徒の資質・能力の育成に向け，自律的・組織的なカリキュラム・マネジメントの確立
【目指す教員の姿】質の高い「問い」を設定する力・単元を構想する力・学びをファシリテートする力，デジタル機器を活用する力を身に付ける→「主体的な学び」の実現
【安全・安心な教育環境の構築】
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

「呉市教育大綱」・「呉市教育振興基本計画」

○若い世代が安心して子どもを産み育て，未来の人材を育てるまち
○文化芸術やスポーツに親しみ，生涯を通じて学ぶことができるまち

呉の学校教育

○小中一貫教育を基盤に「つながり」を重視した教育を展開
○「未来を創る人材の育成」
　・防災教育の深化・授業改善の推進・個を大切にした支援の充実・働き方改革の推進・不祥事の未然防止
○「命を大切にする教育」「安全・安心で信頼される学校」の継続的な取組
○コミュニティ・スクールの導入

児童生徒

○多様な対話がある学びを楽しんでいる。
○異学年や地域とのかかわりを大切にした体験活動が盛んで,学び合う風土がある。
○地域に愛着をもっている。

▼基礎学力と語彙力，考えを適切に表現する力に課題がある。
▼身に付けた知識・技能を，実生活の中で役立てるまでには至っていない。
▼自己肯定感にくらべ自己有用感がやや低い。
▼地域，家庭生活においてセルフコントロールに課題がある。

倉橋学園で目指す資質・能力

設定した資質・能力	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期	構造化され生きて働く概念的な知識や,自在に活用できる技能が身に付いている。	（実社会・実生活の中から）問いを見いだし，効率的・効果的に分析して考え，根拠を明らかにしながら，論理的に表現することができる。	探究的な学習の過程において，実社会・実生活の課題を自分のこととして考え，協働的に解決に向かい，地域や社会に貢献しようとしている。
中期	新しく学習した言葉や技能を正しく理解し活用することが身に付いている。	（実社会・実生活の中から）問いを見いだし，必要な情報を整理・分析して考え，根拠を明らかにしながら，順序立てて表現することができる。	探究的な学習の過程において，実社会・実生活の問題を解決するために,（自分の意思で）目標をもち，友達と協力しながら解決に向かい，地域とつながろうとしている。
前期	新しく学習した言葉や技能を正しく理解している。	身のまわりから問題を見付け，集めた情報から考え，理由を明らかにしながら，相手に伝えることができる。	自分の生活を見直し，自分の特徴やよさを知るとともに，ちがう意見や友達の考えを大切にしながら，身のまわりのことと関わろうとしている。

◇家庭・□地域

◇小中一貫教育に理解を示し，協力的な保護者が多い。
◇小学校，中学校が連携し，充実したＰＴＡ活動を行っている。
◇家庭学習，基本的な生活習慣やメディア利用等の課題意識に差がある。
□過疎化・高齢化・少子化が進み，地域での人間関係が限定的になりがちである。
□先人に支えられた歴史・自然・文化・産業等の教材に恵まれている。
□地域活性化を図る動きがある。
□倉橋を支える諸団体（宝島くらはしまちづくり協議会，くらはし観光ボランティアガイドの会等）からの学校への多彩な支援がある。
□保育所が隣接しており，保小連携が行いやすい。

○多様な学習材と出会う，かかわる。
○学びを「私」の未来や「私たち」が生きる社会へつなぐ。
○自他の幸せのため，新たな価値を創造する。

何ができるようになるか
ー学校教育の基本ー

○児童生徒の学習改善につなぐ。
○教師の指導改善につなぐ。
○学習評価の結果を教育課程の改善につなぐ。

何が身に付いたか
ー学習評価の充実ー

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し，
社会と連携・協働しながら，未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現

「カリキュラム・マネジメント」実現

何を学ぶか
ー教育課程の編成ー

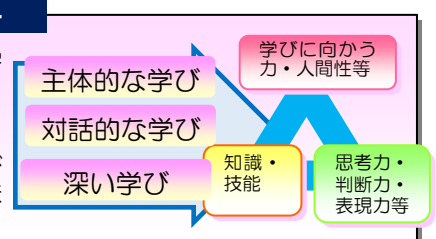
○「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成
○学習の基盤となる資質・能力の育成
○教科等の横断的な視点からの教育課程の編成（総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マップの活用）
○校種間の円滑な接続
　・スタートカリキュラム（保小接続）の活用
　・高校を見据えた教育課程

子供の発達を
どのように支援するか

○個別最適な学びの創造
○特別な配慮を要する児童生徒への支援
○ユニバーサルデザインによる指導の工夫
○個別の能力に応じた日本語指導

どのように学ぶか
ー教育課程の実施ー

○主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
○教科等の本質に迫る「考える授業」づくり
○豊かな対話から深い学びへつなぐ指導方法の工夫
○ＩＣＴの効果的な活用



倉橋学園ならではの小中一貫教育

学力向上部会

豊かな対話から深い学びへつなぐ授業づくり
　○豊かな対話から深い学びへつなぐ「授業サイクル」の徹底
　　（問い→個→集団→個〈再構成〉，ＩＣＴの効果的な活用，個を大切にした指導）
　○課題発見・解決の過程を位置付けた単元づくり
　　（「カリキュラム・マップ」と「学びのデザインシート」の活用）
　○学習規律の徹底による学びの土台づくり「理由を付けて話す」「反応しながら聴く」
　○授業改善に向けた合同研修，小中接続を見据えた協働授業

生活力向上部会

自律と協働により自己有用感を高める生活づくり
　○小中合同行事の充実（よさを認め合い，学びを共有）
　○地域や異学年等との交流の充実
　　（地域との関わりを大切にした活動，施設一体型小中一貫教育校ならではの日常的な交流）
　○主体的な生活改善に向けた取組（目標→指導→振り返り・評価の一体化）

子供を支える教育環境

○不祥事防止委員会の機能化
○自分ごとの不祥事防止に向けた学園服務研修の推進
○仕事と生活の調和を図る「働き方改革」
○ＩＣＴの効果的な活用による業務改善
○個に応じた支援と居場所づくり・人間関係づくり

安全・安心を守る教育

○「自分の命は自分で守る」力の育成
○「呉市防災教育のための手引き」「土砂災害携帯マニュアル」の活用，避難訓練の実施
○地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実